

おまえざき

市議会だより

第60号

2019.10.11.12月

令和2年2月発行

- ② 議長あいさつ
12月議会定例会
- ⑤ 委員会質疑
- ⑥ 一般質問
- ⑨ 委員会報告
- ⑫ 視察研修



◀学び歩きマップ



高松神社



みたらし
御手洗の水源



ホタルの里

高松の由来

この地の村落は、高松山、^{とうじんやま}唐人山、^{ななつやま}七ツ山等の周りに、^{かどやむら}門屋村・^{しおばらしんでんむら}塩原新田村・^{こうどむら}合戸村ができた。中でも門屋村は最も古く弥生時代からの遺跡が残されている。701年（大宝元年）からこの地に鎮座する高松神社が建立された頃は、この三か村は大部分が神社の境内や領地内に存していた。

長い歴史を経て明治22年、町村制の施行によりこの三か村は池新田村と合併し、池新田西村と呼ばれていたが、その後池新田地区と高松地区に区分された。